

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和7年7月末現在
男 15,187人
女 15,109人
総人口 30,296人
世帯数 13,723世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X (旧ツイッター)
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountid=ibarakitown>



里山に育む生きものたち

No.158 ヒメハラナガツチバチ
(ツチバチ科)

学名 *Campsomeris annulata*
Fabricius

写真・文 小菅 次男

九州、国内では本州、四国、屋久島の平地から



アオドウガネ

▼ヒメハラナガツチバチとは
ツチバチ科のハチはコガネムシの幼虫に寄生する寄生バチで、中々大型で体が毛が密生し、脚は頑丈で土を掘る為にトゲがあります。
ヒメハラナガツチバチの体長は18mm前後で、重要害虫のドウガネブイブイ、アオドウガネ等の終齢幼虫に寄生します。春はツツジ、秋はコスモスの花など多くの花を訪れ、花の蜜を吸う普通種です。

天敵生物を利用する生物的防除は、環境への負荷が少なく、化学農薬では防除困難な害虫も防除できるため古くから試みられています。

▼重要な生物防除のハチ
害虫防除の手段として天敵生物を利用する生物的防除は、環境への負荷が少なく、化学農薬では防除困難な害虫も防除できるため古くから試みられています。

山道まで分布し、樹林、林縁、畑地、公園、社寺境内、人家の庭などに広く見られます。
国外では朝鮮半島、中国、インド、台湾、東南アジアに分布し、年一回、4月下旬〜11月上旬に発生し、成虫は塵などの土中に潜って越冬します。
活動は活発で、飛翔は比較的敏速、攻撃性はなかく、手でつかんだりしなければ刺すことはありません。

この昆虫局により大いに研究され、活用されていることはよく知られています。

▼米国での活用
ツチバチ類は日本からアメリカに帰化した大害虫のメムコガネの天敵となるので、その駆除のため、その生態はアメリカの昆虫局により大いに研究され、活用されていることはよく知られています。

代表的な例の一つがツチバチ科のハチです。
コガネムシ類の幼虫は地中にいるため、農薬等が効きづらく防除が困難な事から、天敵昆虫の利用が有望視されています。
メスは交尾後、その頑丈な脚で土をかき分け地中に潜り、コガネムシ類の幼虫・ジムシを探し、ジムシを発見すると幼虫の胸部神経節近くを針で刺し、麻酔をかけてからジムシの体節の間に産卵、ふ化したハチの幼虫はジムシの栄養を吸収して成長します。

ちびっ子アート

ふじ保育園

作品テーマ：おおきくなったら



「ペットショップで働きたい！」
かわまた ゆうさ(6歳)

「水族館の飼育員さんになりたい！」
うわそ たける(5歳)